

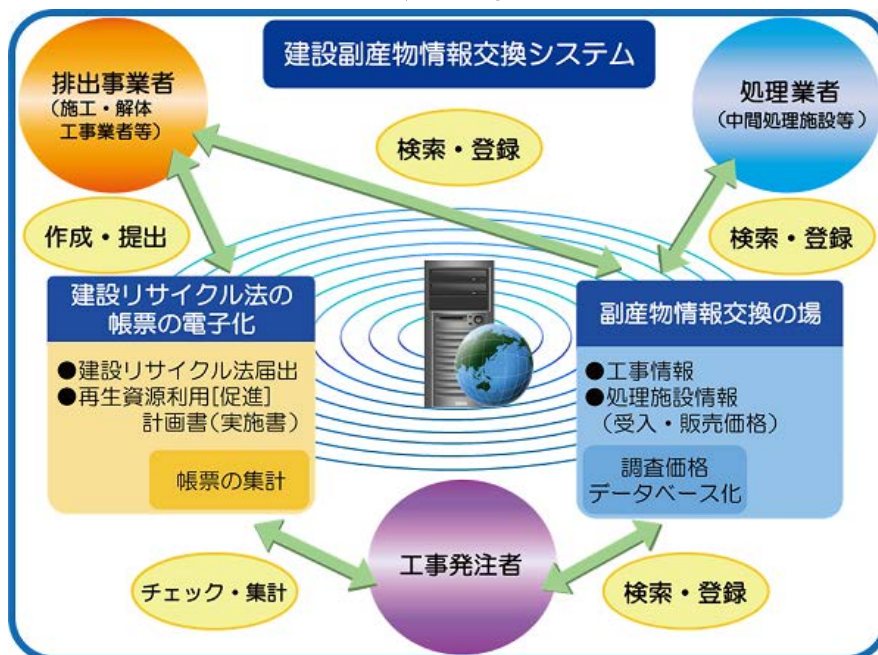
技術概要書（様式）

※別紙2

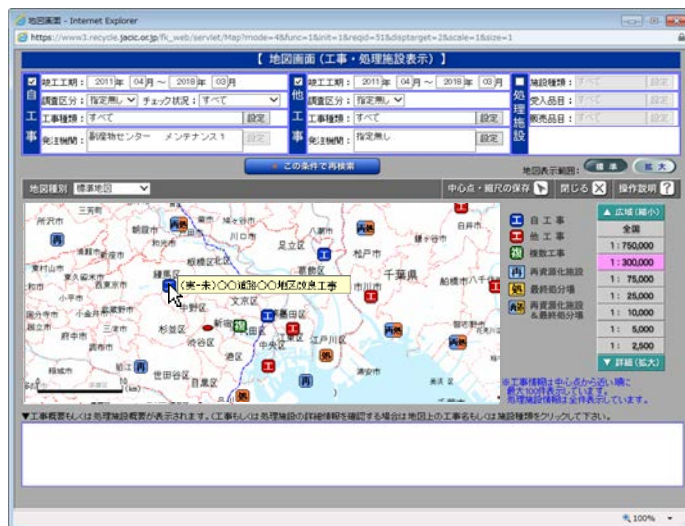
技術分類	安全・防災 維持管理 環境 コスト ☒ IoT 品質 (該当する分類に○を付けてください)																										
技術名称	建設副産物情報交換システム	担当部署	建設副産物情報センター																								
NETIS登録番号		担当者	池田 典史																								
社名等	(一財)日本建設情報総合センター	電話番号	03-3505-2661																								
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)が平成12年5月に公布され、平成13年1月には国が同法に基づく基本方針を策定し、建設副産物のリサイクル推進に向けた新たな基本的考え方、目標および具体的施策を明らかにしました。これら建設副産物を取り巻く環境の変化を受け、国土交通省では、循環型社会の構築を目指して「建設副産物情報交換システム」を開発しました。平成14年度に全国運用が開始され、以来弊財団にて管理運用を行っています。 2. 技術の内容 公共工事の発注者、排出事業者及び処理業者を利用者としたインターネットを利用したシステムで、以下の建設副産物に関するリアルタイムの情報交換が可能です。 ➢ 建設副産物の処分先、再生資材の購入先の登録・検索。 ➢ 建設リサイクル法に基づく帳票の作成・出力・チェックのやりとり。 ➢ 建設副産物実態調査(センサス)用のデータバンク。 ➢ 登録したデータの集計、リサイクル率の算出。 ➢ 登録された工事情報や処理施設情報は、デジタル地図など各種検索機能から確認。 3. 技術の効果 処理施設情報の情報交換により、工事発注者及び排出事業者の設計積算に役立つとともに、処理業者の自社PRが図られます。 法令に基づく各種書類の作成や、建設副産物実態調査への対応、および発注機関における独自の集計調査等において、事務の省力化・効率化が図られます。 これにより、建設副産物の需給バランスの確保、適正処理とリサイクルの推進に寄与するとともに、業界の市場活性化につながります。 4. 技術の適用範囲 ・公共工事発注者(国、機構・事業団等、都道府県、市区町村等) ・排出事業者(公共工事等の施工業者、解体工事業者) ・処理業者(建設副産物の再資源化施設、最終処分場) 5. 活用実績 (平成29年度加入者数) <table border="1"> <tr> <td>発注者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 国の機関</td> <td>221 (九州</td> <td>36、九州以外</td> <td>185)</td> </tr> <tr> <td> 機構(公団)等</td> <td>4 (九州</td> <td>0、九州以外</td> <td>4)</td> </tr> <tr> <td> 自治体</td> <td>307 (九州</td> <td>26、九州以外</td> <td>281)</td> </tr> <tr> <td>排出事業者</td> <td>15,575 (九州</td> <td>2,293、九州以外</td> <td>13,282)</td> </tr> <tr> <td>処理業者</td> <td>1,723 (九州</td> <td>254、九州以外</td> <td>1,469)</td> </tr> </table>			発注者				国の機関	221 (九州	36、九州以外	185)	機構(公団)等	4 (九州	0、九州以外	4)	自治体	307 (九州	26、九州以外	281)	排出事業者	15,575 (九州	2,293、九州以外	13,282)	処理業者	1,723 (九州	254、九州以外	1,469)
発注者																											
国の機関	221 (九州	36、九州以外	185)																								
機構(公団)等	4 (九州	0、九州以外	4)																								
自治体	307 (九州	26、九州以外	281)																								
排出事業者	15,575 (九州	2,293、九州以外	13,282)																								
処理業者	1,723 (九州	254、九州以外	1,469)																								

6. 写真・図・表

▼システムのイメージ



▼地図検索機能



▼登録情報画面<工事>

建設副産物情報交換システム

排出事業者の工事基礎情報

工事ID: 482967

工事名称: 〇〇町〇〇号舗装工事

工事場所: 東京都港区 〇〇町〇〇号

工事種別: 舗装工事

工事期間: 2018年4月1日 ~ 2018年4月31日

発注者: 〇〇町建設課

発注金額: 2,000万円

発注内容: 〇〇町〇〇号舗装工事

▼建設リサイクル法帳票の作成

建設リサイクル法帳票の作成

再生資源利用実施書 - 建設資材搬入工事用 -

発注者: 〇〇町建設課

発注金額: 2,000万円

発注内容: 〇〇町〇〇号舗装工事

▼チェックリストによる帳票チェック

チェックリスト

OBRS版 CREDAS

作成日: 2018/07/23

副産物センター メンテナンス1

【検索条件】 調査区分: 実施 工事場所: 指定なし 発注機関: 指定なし

工事ID: 482967 調査区分: 実施 工事名称: 〇〇町〇〇号舗装工事 1/1

発注担当者: 建設太郎 工事種別: B-1 改良 (道路)

請負金額: 2,000万円 工期: H30年4月1日~H31年3月31日

発生箇所	入力値	エラー内容 (※は必須)	コメント
工事概要	98	5. 工事種別	建設系の工事以外で延床面積等が入力されています。
工事概要	1000	5. 工事種別	建設系の工事以外で延床面積等が入力されています。
工事概要	5	5. 工事種別	建設系の工事以外で延床面積等が入力されています。
工事概要	3	5. 工事種別	建設系の工事以外で延床面積等が入力されています。
様式: 【建設発生土】 現場内利用量	10,000	19. 不整合	対応する現場内利用が無いか、供給量が「現場内」になっていません。